

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 しらさぎ福祉会

〈基本理念〉

「家族と暮らしているようなアットホームな施設」

〈基本方針〉

- ① 尊厳を守り、個別性を大切にします。
(不安や不快のない、健康で安全な生活)
- ② ご利用者やご家族との信頼関係を大切にします。
(ご利用者やご家族の視点に立ち、想いに応える)
- ③ 地域や社会とのつながりを大切にします。
(共生、協働、社会参加)

本年度は、平成28年度から着手した改修工事の2期及び3期工事を手掛け、快適性と機能性を重視した特養2階浴室その他附属工事と土砂災害対策の一環として行った擁壁工事と職員駐車場整備を終え、9月には竣工式を執り行うことができました。地域関係者に対し、しらさぎの里がより一層地域貢献を果たしていく姿勢を示し、平成30年4月の介護報酬改定に向け、まずはハード面での環境が整いました。

一方、新たな加算算定要件が徐々に明らかになる中で、いくつかの課題が明らかとなり、例えば人材確保による専門職の配置など、各課題に対する条件整備を具体化し実行することが急務と認識するに至りました。そこで、平成30年度以降、当面の課題を盛り込んだ中長期計画を策定し、計画的に基盤の強化を図っていく方針を示しました。

1 法人経営の原則の遵守

法人は、健全かつ適正な事業運営を継続しつつ経営基盤を強化、維持するという視点が求められています。そのため、平成30年4月の介護報酬改定に対し、早期情報収集とその分析に努め、次年度に向けた体制づくりに力を注いできました。制度改正では、2025年に向けて、更に厳格な体制整備と質の向上を求める動きがあり、医療との連携や身体拘束禁止、褥瘡予防などの強化、看取り体制の充実化などが喫緊の課題であることが明確化されました。それを受けて、まずは人材の確保と人材育成という社会共通の大きな課題への対策が急務であることも浮き彫りとなりました。

職員教育と職員処遇の整備については、数年来の取り組みにより大きな改善を図り、キャリアパス制度の下で働き甲斐があり、安心して働き続けることができる職場づくりが着々と進んでいる。本年度は、非常勤職員の昇給制度や退職手当支給規程の整備、

それに伴う就業規則の見直しなども実現することができました。

また、制度改革を受けて役員の義務と責任が明確化されたことにより、役員確保を課題とする将来的な体制維持のため、役員賠償責任保険に加入しました。

2 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

第1回 平成29年5月29日

第1号議案 平成28年度決算（計算書類及び財産目録）の承認について
（監事監査報告）

第2号議案 新役員候補者の評議員会への提出議案について

第3号議案 役員等報酬額及び支給基準の評議員会への上程議案の承認について

第4号議案 定時評議員会開催の詳細について

第5号議案 経理規程の一部改正について

第6号議案 非常勤職員における昇給基準の見直しについて

その他 報告事項として理事長の職務執行状況について
平成28年度事業報告について

第2回 平成29年6月16日

第1号議案 理事長の選定について

第3回 平成29年9月18日

第1号議案 退職手当支給規程の制定について

第2号議案 就業規則の一部改正について

その他 報告事項として理事長の職務執行状況について

第4回 平成29年12月18日

第1号議案 評議員補充選任候補者の推薦について

第2号議案 理事長の選定について

第3号議案 平成29年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算について

第4号議案 退職手当給付規定の制定について

第5号議案 就業規則一部改正について

第6号議案 第2回評議員会への上程議案の確認について

その他 理事長の職務執行状況について

平成29年度上半期決算報告について

平成29年度上半期監事監査報告について

第5回 平成30年3月19日

第1号議案 平成29年度第2次補正予算について

第2号議案 平成30年度事業計画及び予算について

- 第3号議案 平成30年度定期昇給について
- 第4号議案 役員賠償責任保険の加入について
- 第5号議案 給与規程の一部改正について
- 第6号議案 職員旅費規程の一部改正について
- 第7号議案 平成29年度第3回評議員会への上程議案の確認について
- その他 理事長の職務執行状況について

② 評議員会の開催

第1回 平成29年6月16日

- 第1号議案 平成28年度決算（計算書類及び財産目録）の承認について
（監事監査報告）
- 第2号議案 役員の選任について
- 第3号議案 役員等報酬規程に基づく支給基準について
- 第4号議案 経理規程の一部改正について
- 第5号議案 非常勤職員における昇給基準の見直しについて

第2回 平成29年12月18日（全評議員の同意により理事会との同日開催）

- 第1号議案 平成29年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算について
- 第2号議案 退職手当給付規程の制定について
- 第3号議案 就業規則の一部改正について

第3回 平成30年3月26日（全評議員の同意により中7日を挟まず開催）

- 第1号議案 平成29年度第2次補正予算について
- 第2号議案 平成30年度事業計画及び予算について
- 第3号議案 平成30年度定期昇給について
- 第4号議案 役員賠償責任保険の加入について
- 第5号議案 給与規程の一部改正について
- 第6号議案 職員旅費規程の一部改正について

③ 監事会の開催

平成29年5月12日（世良監事・石飛監事）

5月29日の理事会及び6月16日の評議員会にて監事監査報告

平成29年11月17日（世良監事・石飛監事）

12月18日の理事会及び評議員会にて上半期監事監査報告

④ 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 平成29年3月27日

- 第1号議案 評議員の選任（社会福祉法の改正に伴う9名を選任）

第2回 平成29年12月18日

- 第1号議案 評議員補充選任候補者について（補充選任の1名を選任）

3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営
地域密着型特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
老人デイサービス事業の経営
地域支援総合事業の設置経営(アットホーム林田しらさぎ)
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業の経営
生きがいデイサービス事業の経営
地域包括支援センター事業の設置経営

4 本年度の重点施策

- ① 平成 30 年度介護報酬改定に向けた更なる経営基盤の強化
 - i 介護報酬改定に向けた説明会等により加算算定要件が明らかになり、新たな加算項目も示された。そのような中で、介護報酬改定に関する勉強会を独自開催し、徹底分析を行い、現時点で算定可能な項目と今後算定を目指す項目を明確化した。新たな算定項目をクリアするための要件として、まず人員配置、特に看護師と機能訓練指導員の確保が重要であり、その対応が急務と判断しました。
 - ii 地域における役割拡大に向け、医療との連携や認知症介護などの社会的ニーズに応える得る体制づくりを目指し、地域との連携、嘱託医や協力医療機関との連携強化、外部研修を活用した職員の人材育成を積極的に行いました。
 - iii 人材確保のため、ハローワークやホームページを通じて法人及び施設の魅力を発信する一方、ハローワークによる企画に積極的な参加を行い、求職者とのマッチングを図りました。
- ② キャリアパスによる人事管理の適正化
 - i 職員処遇の改善については、数年に渡り成果をあげてきましたが、29 年度には、更に、退職金給付規程を導入し職員が働き続けるうえでの将来の安心を築いたこと、中堅職員である主任・副主任を対象とした勉強会を年間通じて開催、外部研修においても介護人材育成やストレスマネジメント等をテーマとした研修を受け、現場指導に役立て、職員の定着化と資質向上を図りました。
 - ii 介護福祉士国家資格の他、調理師免許を取得した職員に対し、奨励金を支給しその成果を称えるとともに、キャリアアップが果たせるように、新しい役割や経験にチャレンジできる環境を作りました。
- ③ 地域支援事業等事業の多様化への対応
軽度者の介護予防や認知症予防につながるように、アットホーム林田しらさぎでのふれあいサロンを定期開催、介護者教室や地域交流講習会との同時開催を効果的に実施し、地域の身近な場所で地域ニーズを把握しそれに応える拠点として定着化

を図り、社会福祉法人の役割と存在意義を示しました。

④ 経費の節減について

大規模改修でのオール電化を実現したことを受け、デマンド管理装置を設置し、デマンド値を目安とした節電意識を全職員に根付かせました。また、財源運用面では、物品管理上の優先順位を意識した修理及び購入を計画的に実行しました。

⑤ 職員の質の向上について

i 中堅職員が人材育成や接遇、マナーをテーマとした研修に参加し、受講内容を現場指導に役立てることで職員のプロ意識と資質向上の考えを浸透させました。

ii 法人の基本理念及び基本方針を浸透させ、高齢者虐待対応力向上研修や介護技術のテーマ別研修に参加し、学習内容を内部研修にも反映させることで、安全・安心・安楽な施設づくり、虐待防止に資する職場環境づくりを図りました。

⑥ 災害時に備えた体制の整備について

6月4日に姫路市（危機管理室など）、消防署、警察署、神戸地方気象台、林田連合自治会、山田自治会、姫路西消防林田東分団・西分団、などと合同土砂災害避難訓練を実施し、訓練の検証及び意見交換会、神戸地方気象台職員を講師とした防災講習会を通じて、行政と施設そして地域との災害時における連携手段の確認と連携強化、職員と地域住民との間での防災意識及び対応能力の向上を図ることができました。その様子は、翌日6月5日の神戸新聞と読売新聞の記事として紹介され、日本経済新聞の特集の一部でも取り上げられ、ケーブルテレビの映像にも流れるなど、メディアを通じて地域に広く紹介されました。今後は、いつ起こるかわからない災害に備え、火災避難訓練と土砂災害避難訓練を地域ぐるみにより、毎年度継続的に実施していきます。

また、大規模改修では、土砂災害対策として、施設の老朽化部分の改築や施設周辺の擁壁工事及び水路整備を終え、可能な範囲での安全対策を図りました。

⑦ 人材確保に向けた取り組み

若年世代の労働人口が激減するなか、2025年に向けた介護人材の確保を考えた取り組みとして、定年制をこれまでの60歳から65歳へと引き上げるとともに、再雇用契約の年齢を70歳までとしました。また、40歳代や50歳代からの途中入職者にも退職後の充実した人生を送ってもらえるように退職手当支給規程を大幅に改定する見直しを図りました。そのような取り組みが評価され、この度、厚生労働省と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が共催する平成29年度高齢者雇用開発コンテストで特別賞を受賞しました。

その甲斐あって、平成30年2月より、65歳の介護職員2名を採用するに至っています。また、3月には大卒者1名と、高卒者1名が入職しています。

5 施設整備について

介護の多様化と人材不足がより深刻化する中、老朽化部分の改築をはじめ、浴室環境と施設設備の効率化・機能化を図る整備を行いました。

以上

平成29年度

事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、95.8%で前年度と比較し-1.1%の減少となりました。要因として医療機関との連携を図りましたが、入居者の身体的重度化による急変者及び入院者の増加、療養型医療施設への急な転院による退所があげられます。

1 根拠に基づいた介護の実践

1) 根拠に基づいた介護の実践について

特養会議やフロア一会議、施設内研修会において、適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事を摂取できた場合に、身体にどのような影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。

2) 職員の専門性の向上について

介護技術講習会での講師の経験、施設内研修会を行い職員の資料作成能力・説明能力(プレゼンテーション)の向上に努めました。

3) 専門的な知識習得の場を設け、労働意欲の向上及び資格取得の促進を図りました。

介護福祉士取得者：1名 介護支援専門員取得者：1名

特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
4月24.28日	介護職に求められている職業倫理	介護職員
5月10.15日	高齢者施設における事故発生の原因と予防	介護副主任
5月19.24日	高齢者虐待	介護職員
6月8.14日	水・食事・歩行と排泄	介護副主任
6月27.30日	食中毒の基礎知識と予防	栄養室係長
7月6.13日	吸引・胃瘻介助	看護室係長
7月19.26日	介護食(刻み食)	栄養室係長
8月26.29日	認知症ケア	介護職員
9月7.15日	口腔ケアの大切さ	看護室係長
9月20.29日	ターミナルケア	介護副主任
10月27.30日	プライバシー保護、個人情報保護	介護職員
11月7.14日	感染症予防・対策	看護室係長
12月14.20日	高齢者の疾病	看護主任
1月26.30日	介護事故の予防と緊急時の対応	介護副主任

2月7.8日	吸引・胃瘦介助（実技）	看護室係長
3月27.30日	高齢者の尊厳を守るケア	介護職員

新人研修（講義）日程：3月5日～16日

研修内容	担当職員
しらさぎの里の理念	施設長
諸規程の説明	事務長
パソコンの使用方法、接遇マナー、放送の仕方	事務員
介護の概要	部長
介護職の職業倫理	部長
特養の役割、業務内容	部長
高齢者への接し方・高齢者虐待、報告・連絡・相談	部長
高齢者の尊厳	部長
緊急時の対応（心肺蘇生法 + AED）	係長
技術標準（食事・排泄・入浴）	部長・課長・係長
移乗介助	課長
高齢者の栄養・体調管理・栄養ケア計画・食中毒	栄養室係長
食事・排泄・入浴・移乗介助の実践	係長
根拠に基づいた介護（水、歩行と排泄、認知症）	課長・係長
電話応対（受けるとき・かけるとき）時の注意点	部長
施設ケアプランの考え方	係長
胃瘻・喀痰吸引の基礎知識、応急手当	看護室係長
高齢者の体調・感染症	看護室係長
褥瘡の基礎知識と介護職の役割	看護室係長
介護保険制度	部長

新人研修（実地研修）日程：3月16日～4月1日

研修内容	担当職員
業務・入居者対応の実地研修	本館副主任

実習受入状況

受入期間	学校名	実習内容
自 平成29年6月12日～6月23日 至 平成29年9月5日～9月27日	兵庫県立龍野北高等学校2名	介護実習Ⅱ-1.2
自 平成29年9月25日 至 平成29年9月29日	兵庫県立大学2名	給食の運営
自 平成29年11月6日 至 平成29年11月17日	兵庫県立龍野北高等学校2名	介護実習Ⅰ-4

2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロアー会議において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

3 サービスの質の向上について

1) 根拠に基づいた介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し、意識障害・認知力の改善が見られた方が6名、福祉用具を用いて歩行が可能になられた方が2名、下剤に頼らず自然な排便が見られた方が2名となりました。

心身状況の把握に努め、変化があった事に対し家族へお伝えし、家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。また、家族へのサービス担当者会議出席を積極的に依頼し、施設でのケア内容の理解と協力を得られる様に努めました。

サービス担当者会議開催件数

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
サービス担当者会議の件数	128 件	133 件	115 件
家族参加の総件数	67 件	65 件	67 件

2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）を家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時には家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。

① 介護の取り組み

i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位を確認し、入居者本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分摂取を勧める事により、脱水から起こる認知レベルの低下を予防し、改善に繋がる方もありました。

ii 排泄：

入居者一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成 29 年 4 月	13 名	36 名
平成 30 年 3 月	14 名	41 名

iii 入浴：

入居者の身体状況（ADL 変化時）に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会

議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。

月日\種別	普通浴	臥床特殊浴	座位特殊浴	個浴
平成 29 年 4 月	14 名	14 名	0 名	32 名
平成 30 年 3 月	0 名	13 名	20 名	27 名

② 看護室の取組み

- i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。

医師の往診時には、入居者の状態を的確に報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 20～30 名程度の診察

心療内科医師：対象者 25 名

嘱託医回診以外の協力医療機関等への受診状況		
平成 27 年度受診件数	平成 28 年度受診件数	平成 29 年度受診件数
285 回	325 回	324 回

協力医療機関等への入院状況			
項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
入院者数	25 名	21 名	26 名

- ii 入居者・職員ともに年 1 回（夜勤者は年 2 回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。

- iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

平成 29 年度ターミナルケア実施者：10 名（内 7 名がご逝去）

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
ターミナルケア実施者数	10 名	7 名	10 名

③ 栄養室の取組み

- i 給食実施状況

- ・食事形態について

食事形態について平成 27 年度・28 年度・29 年度の 3 年間の比較をグラフにしました。

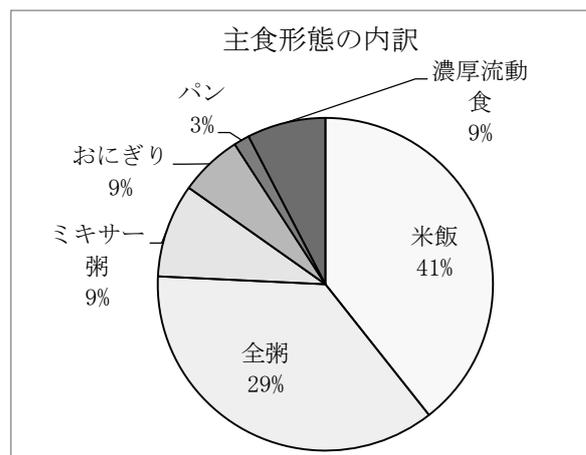
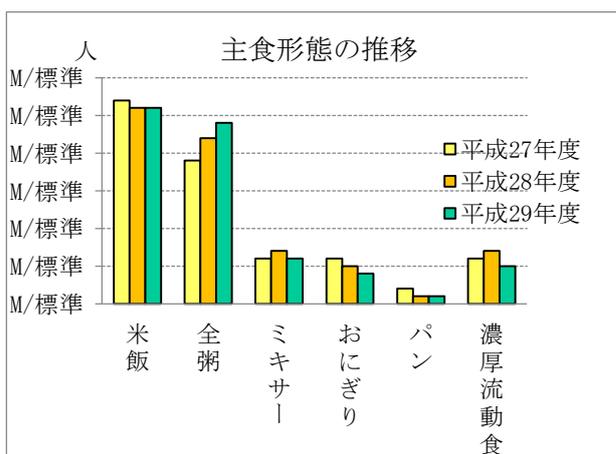
・食事形態3年間比較グラフ

<主食> 平成30年3月31日現在

	米飯	全粥	粥ミキサー	おにぎり	パン	濃厚流動食
平成27年度	27	19	6	6	2	6
平成28年度	26	22	7	5	1	7
平成29年度	26	24	6	4	1	5

(名)

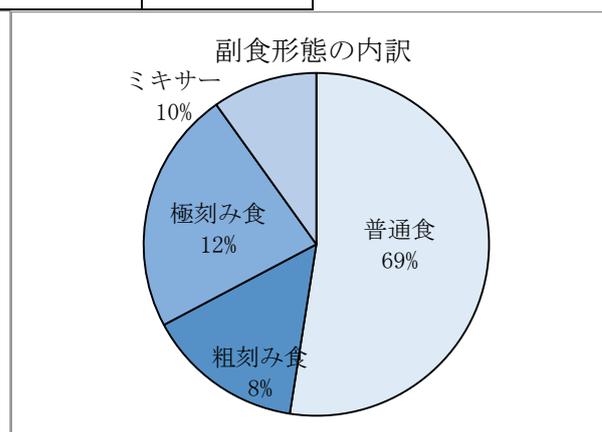
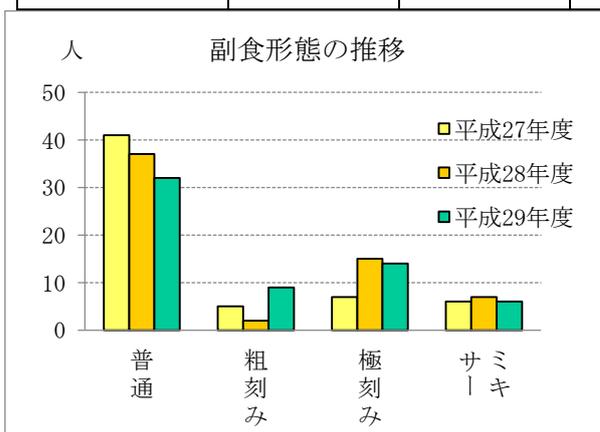
※濃厚流動食内訳：胃ろう6名



<副食>平成30年3月31日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー
平成27年度	41	5	7	6
平成28年度	37	2	15	7
平成29年度	32	9	14	6

(名)



※平成30年3月31日現在入院者数4名を除く。

ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンc	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	800	1.00	1.20	100	8.0
H29年度平均	1508	61.0	35.6	229.7	565	7.4	700	0.80	1.01	99	7.9

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では栄養ケアマネジメント体制を整えています。特養の入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 経管栄養について

経管栄養（胃ろう・鼻腔）にて毎日の栄養を摂取される入居者の割合は全体の9%であり年々減少傾向にあります。各個人の状態に応じた濃厚流動食の選択や適正カロリーの摂取、また逆流や嘔吐の予防などに努めています。嘱託医、看護師と密に連携を取り、濃厚流動食の種類を充実させ、個人個人に最も適した濃厚流動食で対応できるようにしています。これにより入居者の体調を良好に保ち栄養状態が改善され、また注入時の負担が軽減できるなど良好な結果を得ています。

v 療養食について

特養入居者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらさぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<平成 30 年 3 月 31 日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	腎臓病食	貧血食
特養	6	6	0	1
ショートステイ	1	0	0	0

3) 四季や生きがいを感じて頂けるように、下記 施設行事やフロアー行事に参加して頂きました。

特養合同施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容
4月	・花見（しらさぎの里）
5月	・ルピナスドライブ（三日月）
6月	・紫陽花ドライブ（安富）
7月	・ビアガーデン・しらさぎの里夏祭り・七夕
8月	・向日葵ドライブ・そうめん流し
9月	・敬老会
10月	・運動会・バーベキュー
11月	・外食ドライブ
12月	・餅つき・クリスマス会
1月	・初詣・書初め
2月	・節分・恵方巻き
3月	・焼き芋・フルーチェ作り・梅ドライブ（御津）

5 地域との連携の強化について

しらさぎふれあいサロンを偶数月に、特養・デイ・居宅で共同開催し、勉強会や施設見学、ボランティアや地域住民と入居者の交流を通して、高齢者施設の理解・安心感へ繋げることに努めました。地域サポート型施設として、平成 29 年度は 6 名の契約者の見守り事業を行いました。また 介護技術講習会を 2 回、認知症予防教室を 1 回開催し、介護技術の習得、高齢者の理解を深める事に努めました。

ふれあいサロン実施状況

開催日	4月	6月	8月	10月	12月	2月
参加者数	20名	15名	中止	24	中止	中止

L S A 契約者状況

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
12 名	8 名	6 名

介護技術講習会実施状況

7月22日	状態に応じた移乗介助の方法	参加：18名
11月15日	認知症の予防と認知症の方への接し方	参加：22名
12月13日	高齢者の摂食嚥下の状態に応じた食事介助の方法	参加：17名

6 施設運営の安定と経費の適切な管理

1) 健康サポート（状態把握・対応）について

入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応（受診・食事形態変更・観察）と入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより特養空床の有効活用に努めました。

また、入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

7 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

① 主任会議において事故検討委員会を行い、各フロアー会議にては危険予測と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があれば家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

平成27年度	皮下出血 75件	転倒 56件	表皮剥離 34件
平成28年度	皮下出血 55件	表皮剥離 44件	転倒 36件
平成29年度	皮下出血 73件	表皮剥離 48件	転倒 23件

平成28年度 総事故件数 194件 平成29年度 総事故件数 203件

② 毎月、感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防対策を図りましたが、前年度3月末から4月にかけて感染者が出てしまい入居者13名、職員1名が感染しました。また、新規入居者が疥癬に感染していました。

年度\診断名	インフルエンザA型	インフルエンザB型	疥癬
平成28年度	10名	0名	0名
平成29年度	7名	6名	1名

1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適

切に行い施設での状況をお伝えし、家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げる
ことにより、平成 29 年度の苦情は 1 件でした。

また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域
の介護相談についても即 対応しました。

平成 28 年度苦情件数 2 件 平成 29 年度苦情件数 1 件

2) 危機管理について

下記日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しも行き5日分
を常備しています。

特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況

実施日	訓練内容	対象者
6月4日	情報伝達訓練、避難誘導訓練(林田小への避難及び施設内の安全な場所への避難) 防災講習会、訓練検証	全職員、 市職員、地域住民
9月26日	消火、通報および避難等を連帯して行う。 消防機関への通報訓練(ホットライン)ホーム内 への通報連絡訓練等	全職員、地域住民

下記日程において、応急手当普及員の資格を取得した職員が、入居者の緊急時にも迅速に対応できるように、研修を実施した。

救急法訓練 実施状況

実施日	訓練内容	対象者	担当職員
6月19日～7月10日	救急法実践訓練を実施する。	全職員	応急手当普及員 渡部課長

平成29年度

事業報告書

しらさぎの里ショートステイ事業所

本年度年間稼働率は、108.1%で前年度に比べ-2.9%となっています。特養の空床は前年度-1.1%と概ね同様ではありましたが、長期の利用者の体調不良や入院によりキャンセルが多く稼働率の低下につながったと考えます。

1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネージャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時に家族にお伝えをし状態の共有に努めました。

2 在宅生活継続に向けてのケアの構築

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車椅子と歩行器の併用を行いました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの物品チェックの流れを作成し、ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努め、忘れ物自体も減少しています。
- 3) 利用中の細かな状態の変化であっても 家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、家族に早目の連絡と状況の説明を行い 受診を依頼しております。
- 4) 生きがいづくり、楽しみづくりについて
 - ① 個室を利用していただき過ごしやすい環境を提供するとともに状況に応じて居室内で行って頂けるようにしております。
 - ② ショートステイの利用が多めになっている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、デイサービスで知り合いの方と面会や家族からお手紙を書いていたいただき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。
 - ③ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行っ

て楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、特養クラブ活動（生け花・療育音楽等）や年間行事に、ご利用時に合わせて希望を伺い実施に繋げました。

5) 食事について

利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

- 1) 体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得して利用頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、家族にもショートステイでの対応限度に関して利用前に丁寧に説明し、納得頂きご利用に繋げました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。
- 2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネージャーに電話にて連絡し、月に1度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネージャーとの信頼関係の構築に努めました。

以上

平成29年度

事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、95.1%と前年度に比べ1.4%の減少となりました。入居者個々に応じた水分ケアを実施する事と、医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定は図れましたが、重篤な疾患による入院により稼働率の低下に繋がったと思われまます。

1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロアー会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

1) サービスの質の向上について

① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態とどの部分に介助を要するのかを検討し、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも、行事食や月一回のバイキングの実施と常食化（ミキサー食→極刻み食→刻み食→一口大→常食）に努めました。

② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成29年4月	3名	7名
平成30年3月	5名	5名

③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴
平成28年4月	0名	10名
平成29年3月	0名	10名

④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。平成29年度ターミルケア実施者：2名（ご逝去：1名）

⑤ 特養共同の施設行事・フロア行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

フロアー行事実施記録

日 程	行事内容	日 程	行事内容
4月18日	炊き込みご飯	9月5日	けまり寿司
4月21日	誕生日会	9月19日	誕生日会
5月22日	イチゴのゼリー	9月27日	ショッピング（山崎）
5月29日	誕生日会	10月23日	誕生日会
6月23日	カスタードプリン	11月30日	鍋パーティー
7月24日	ショッピング（太子）	11月30日	誕生日会
7月30日	アイスパーティー	12月18日	ババロア作り
8月1日	外出（大黒屋：かき氷）	2月9日	誕生日会
8月12日	スイカ割り	2月20日	ヨーグルトケーキ

2) 高齢者虐待の防止の観点からフロアー会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。

また、フロアー会議において認知症に関する研修会を実施しました。

3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施

入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し、低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。

① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作りに心掛けました。

また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事を食べて頂けるように努めました。

② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。

③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。

4) 運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロアー会議により内容の検証と共有を行いました。

また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

3 施設運営の安定と経費の適切な管理

1) 健康サポート（状態把握・対応）について

根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとりましたが、入院者はおられませんでした。

医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。

4 家族・地域との関係の強化について

1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時には家族への状況連絡を行い、月1回家族への近況報告を行いました。また、家族の無理のない程度に昼食や外出、ユニット独自の行事などにも呼びかけ家族と過ごす時間を持って頂きました。

2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

5 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

① フロアー会議において、危険予測と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれて傷や内出血を確認し、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があれば家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

平成 28 年度	皮下出血 23 件	打 撲 44 件	転 倒 11 件
平成 29 年度	皮下出血 42 件	打 撲 13 件	皮膚剥離 9 件

平成 29 年度 総事故件数 70 件

② 毎月、感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図った結果、感染者はおられませんでした。

2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、平成 29 年度の苦情は 0 件でした。

また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即 対応しました。

平成 27 年度苦情件数 0 件 平成 28 年度苦情件数 0 件 平成 29 年度苦情件数 0 件

3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しております。

以上

給食部門

1 バイキングについて

今年度も月1回、昼食バイキングを実施しました。なるべく曜日が重ならないよう計画を立て、献立は季節のものを多く取り入れることを心がけて作成しました。入居者に季節感や華やかさを楽しんで頂けるよう盛り付けや彩りにも配慮しました。

<バイキング風景>



～バイキング実施状況～

実施日	献立内容
4月20日(木)	握り寿司 アメリカンドッグ オクラのしそチーズ肉巻きフライ 焼き鳥 鯛のほうれん草ロール 若竹煮 茶わん蒸し じゃが芋のポタージュ ピーチムース
5月23日(火)	鉄火巻き・サラダ巻き ハム玉子パイ えびのポテトフライ 季節のお造り なすのミートグラタン 冬瓜かにあんかけ 茶わん蒸し 鯛そうめんのすまし汁 いちごのムース
6月21日(水)	鮎ごはん パイピザ 季節のお造り ピーマン肉詰め 長芋と海老の海苔巻き揚げ ゴーヤサラダ 茶わん蒸し はもの吸い物 季節のフルーツ
7月21日(金)	はもの押し寿司 ツナマヨパン 鮭とチーズのコロッケ 季節の刺身 牛しゃぶサラダ なすの味噌田楽 茶碗蒸し 一口茶そば ヨーグルトゼリーメロンソース
8月26日(土)	エビフライ巻き・鰻の太巻き マルでチーズ 季節のお造り なすのはさみ揚げ 夏野菜のグラタン ゴーヤの白和え はも入り茶わん蒸し フォー風そうめん 白玉フルーツポンチ
9月21日(木)	松茸ごはん 手作りカレーパン サーモンのカルパッチョ えびとはんぺんの春巻き じゃが芋ミートグラタン 煮豚と野菜の炊き合わせ 湯葉ときのこの吸い物 茶わん蒸し りんごと紅茶のケーキ
10月30日(月)	にぎり寿司 ウィンナーロール 秋刀魚の梅しそ揚げ 卵入りミートローフ エビ入りれんこんまんじゅう 蕪の湯葉そばろ煮 茶わん蒸し 松茸のすまし汁 かぼちゃのタルト

11月29日(水)	甘塩鮭の混ぜ寿司 お好み焼き 季節のお造り 豚のロールフライ 里芋の味噌グラタン 海老しんじょうのあんかけ 茶わん蒸し ブリの粕汁 フレンチトースト苺添え
12月22日(金)	かにめし ロールパンサンド ローストビーフ 牡蠣グラタン 海老のフリッター 生春巻き 餅入り茶わん蒸し じゃが芋のポタージュ 苺のパバロア
1月23日(火)	感染症予防のため中止
2月20日(火)	散らし寿司 アメリカンドッグ 季節のお造り カニ甲羅グラタン 大根の肉詰め 分葱の天ぷら 茶わん蒸し 蛤の吸い物 三色ゼリー
3月26日(月)	オープンいなり寿司 明太子スパゲティ エビフライ 春キャベツのロールキャベツ 季節のお造り 菜の花のグラタン 茶碗蒸し 浅利の赤だし 苺のミニパイ

2 手作りおやつについて

毎週火・金曜日に厨房職員が交代でおやつを作り提供しました。また年4回、栄養士と厨房職員手作りによる季節のフルーツや食材を使ったケーキバイキングを実施しました。入居者はとても喜ばれていました。

～厨房職員手作りおやつ～



～ケーキバイキング風景～



<特養ケーキバイキング実施状況>

特養	作成したデザート
4月25日(火)	オレンジムース・シュークリーム・ロールケーキ
7月4日(火)	シュークリーム・ロールケーキ・ヨーグルトムース
10月6日(金)	シュークリーム・ロールケーキ・柿プリン
3月13日(火)	苺のショートケーキ・チョコバナナプリン・キャラメルマフィン

3 行事報告（行事食及び給食関係）

<特養>

日 程	行 事 内 容
4月24日（月）	ユニット炊き込みご飯作り（食材準備・調理指導）
5月22日（月）	ユニットゼリー作り（食材準備・調理指導）
5月29日（月）	ユニットフルーチェ作り（食材準備）
6月23日（金）	ユニットプリン作り（食材準備・調理指導）
7月19日（水）	新館お好み焼き作り（食材準備・調理指導）
7月21日（金）	特養ビアガーデン（食材準備・提供）
7月30日（日）	ユニットフアイスパーティ（食材準備）
8月6日（日）	特養夏祭り（模擬店準備・調理指導・販売）
8月12日（土）	ユニットスイカ割り（食材準備）
8月31日（木）	特養流しそうめん（食材準備・提供）
9月5日（火）	ユニット手毬寿司作り（食材準備・調理指導）
9月19日（火）	ユニット誕生日会（プリンケーキ作り）
10月15日（日）	特養運動会（弁当の手配、作成、提供）
10月23日（月）	ユニットケーキ作り（食材準備・調理指導）
10月26日（木）	特養バーベキュー大会（食材準備・提供）
11月13日（月）	ユニット餃子作り（食材準備・調理指導）
11月16日（木）	本館・ユニット焼き芋作り（食材準備）
11月24日（金）	本館鍋パーティー（食材準備・調理指導）
11月25日（土）	新館ぜんざい作り（食材準備・調理指導）
11月28日（火）	新館鍋パーティー（食材準備・調理指導）
11月30日（木）	ユニット鍋パーティー（食材準備・調理指導）
12月8日（金）	ユニット誕生日会（プリンケーキ作り）
12月18日（月）	ユニットババロア作り（食材準備・調理指導）
12月21日（木）	特養クリスマス会（食材準備）
2月28日（水）	ユニットケーキ作り（食材準備・調理指導）
3月30日（金）	ユニット粕汁作り（食材準備・調理指導）

<デイ>

4月 7日 (金)	お花見 (手作り弁当準備)	
7月 15日 (土) 20日 (木) 24日 (月)	流しそうめん (食材準備)	
8月 12日 (土)	ミニ夏祭り (ベビーカステラ作り)	
1月 17日 (水)	寄せ鍋パーティー (食材準備・調理指導)	

その他：毎月のおやつレク (食材準備)

リハビリクッキング (食材準備)

手作りおやつ提供 (随時)

4 嗜好調査について

個別の嗜好調査として、月1回の頻度で栄養士・厨房職員による聞き取り調査を行いました。

特養入居者・デイサービス利用者を対象とした嗜好調査を行い、結果に基づいた献立作成を心がけました。利用者の生活歴や意見に触れることができ、職員意識の向上に反映させることができました。

また、今年度も全特養入居者とデイサービス利用者を対象にした一斉嗜好調査を年1回実施しました。一斉に実施することで喫食者の意見をデータ化することができ、より良い給食運営につなげることができました。

5 栄養士または管理栄養士養成課程の実習生受け入れ

特別養護老人ホームしらさぎの里では、栄養士または管理栄養士養成課程の実習生の受け入れを行っています。平成29年度は2名の実習生を受け入れ、「給食の運営」において給食業務を行うために必要な食事計画や調理を含む給食サービス提供に関する技術を指導しました。

6 ふれあいサロンのお菓子作り・提供

今年度は、地域住民が参加されるふれあいサロンで、しらさぎの里での手作りおやつのPR、また参加された方に喜んで頂けることを目的として栄養士がお菓子を作成・提供を行いました。

～実施内容～

6月19日（月）	抹茶のガトーショコラ
8月22日（火）	ロールケーキフルーツ添え
10月18日（水）	いちじくのミルフィーユ



7 男の料理教室への参加・指導

今後、少子高齢化社会が進むにつれて、独居になるあるいは介護する立場になる可能性のある男性が増えています。家庭においても料理に関心をもち、簡単なものなら作ることが出来るという自信を持って頂くことを目的とし、男の料理教室への参加・指導を行いました。

～実施状況～

実施日／担当	献立	参加人数	料理写真
4月15日（土） 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・鯛めし ・エビフライ ・すいとん入りみそ汁 ・抹茶豆乳ゼリー 	10名	
5月20日（土） 村田	<ul style="list-style-type: none"> ・そら豆ごはん ・鯛の蒲焼き ・たらこ入りポテトサラダ ・ふんわりかき玉汁 ・たまご蒸しパン 	7名	
6月19日（土） 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・しらす丼 ・ゴーヤチャンプルー ・一口はもにゅうめん ・葛まんじゅう 	10名	
7月15日（土） 村田	<ul style="list-style-type: none"> ・ひんやりサラダうどん ・失敗しない！かき揚げ ・ゴーヤの梅ごま和え ・スイカ寒天 	7名	

8月19日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・だし炊きたこ飯 ・鯖の南蛮漬け ・オクラと長芋のおかか和え ・具だくさん豚汁 	6名	
9月16日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> ・栗ごはん ・はんぺんと海老の春巻き ・茄子の味噌田楽 ・鯛の潮汁 ・スイートポテト 	7名	
10月21日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の炊き込みご飯 ・秋刀魚の梅しそ春巻き ・かぶと湯葉そぼろあん ・もずくと豆腐のお吸い物 ・さつま芋プリン 	9名	
11月18日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> ・あんかけ焼きそば ・鶏手羽とゴボウの甘酢煮 ・切干大根の中華風サラダ ・メロンパンクッキー 	8名	
1月20日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・スタミナぶり照り丼 ・色々野菜の豚肉巻き ・中華コーンスープ ・簡単いちご大福 	6名	
2月17日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭の簡単ちらし寿司 ・う巻き玉子 ・豆腐とえのきの吸い物 ・出し昆布の佃煮 ・福豆チョコ 	7名	
3月17日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・あさりの塩焼きそば ・手羽と春雨のスープ ・ホタルイカと分葱の酢味噌和え ・フルーツよせ寒天 	8名	

8 しらさぎ健康料理教室開催によるしらさぎの里の役割

平成21年度から毎月地域の団塊世代を対象としたゆたりん料理教室を継続開催し、平成24年度から名称をしらさぎ料理教室と変更しました。平成28年度からは『しらさぎ健康料理教室』とし、2か月に1回毎回テーマを決めて食に関する健康講座を開催し、それに関連した調理実習を実施しました。地域貢献事業として管理栄養士が講師となり地域住民への食と健康に関する知識の普及啓発を行いました。

～実施状況～

実施日／講座内容	献立	参加人数	料理写真
5月25日(木) 快腸な生活を 送るために	<ul style="list-style-type: none"> ・押し麦とたたき長芋ごはん ・牛肉の和風ポトフ ・セロリとくらげとところてんの酢の物 ・中華コーンスープ ・南瓜白玉 	9名	
7月27日(木) 美肌を目指す！ 食事	<ul style="list-style-type: none"> ・新生姜と昆布の麦茶ご飯 ・海老のアーモンド揚げ ・夏野菜の豚しゃぶサラダ ・モロヘイヤスープ ・甘酒プリン 	9名	
9月28日(木) 血糖値が気にな る方に	<ul style="list-style-type: none"> ・しらたき入り炊き込みご飯 ・おからのグラタン ・ささみと水菜のさっぱりサラダ ・きのこのふわとろかき玉汁 ・豆乳カスタードプリン 	11名	
11月16日(木) 減塩料理 テクニック	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き込みご飯 ・こってり鶏の照り焼き ・小松菜蓮根のわさびマヨネーズ和え ・蕪とささみのスープ ・デザート揚げ春巻き 	8名	
1月25日(木) 冷え対策の食事	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆とひじきの混ぜご飯 ・牡蠣の山芋衣揚げ甘酢あん ・焼き野菜のサラダ ・かにかまとほうれん草のあったか生姜あんかけうどん ・黒みつリングヨーグルト 	7名	
3月22日(木) 時間栄養学とバラ ンスの良い食事	<ul style="list-style-type: none"> ・春の炊き込みご飯 ・和風ロールキャベツ ・ホタルイカの辛子酢味噌かけ ・春野菜の豚汁 ・葛粉でミルクプリン風抹茶ソース 	7名	

以上

平成29年度

事業報告書

デイサービスセンターしらさぎ

1 デイサービス利用状況

(月別平均利用者数)

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	27.6名	10月	27.7名
5月	27.5名	11月	26.8名
6月	27.8名	12月	25.4名
7月	29.0名	H30. 1月	24.5名
8月	29.8名	2月	23.8名
9月	29.3名	3月	24.5名

年平均 27.0名

介護度別平均利用者数

(予防)

	事業対象者	要支援1	要支援2
29年度	1名	6名	14名

(通所)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
29年度	19名	15名	13名	3名	0名

平均介護度 2.0

(利用者年齢構成)

	男性	女性	合計
～69歳	0	0	0
70～74歳	1	2	3
75～79歳	5	4	9
80～84歳	4	11	15
85～89歳	10	32	42
90～94歳	9	25	34
95～99歳	1	4	5
100歳～	0	0	0
合計	30	78	108
平均年齢	85.7	87.7	87.2
最低年齢	72	70	
最高年齢	97	99	

2 住み慣れた地域での生活

利用者・家族の意向や生活環境などに応じて、利用者が残存機能を最大限に活用しながら、自宅や地域で役割をもって在宅での生活を継続する事ができるように、身体機能の維持や重度化の予防につながる機能訓練、体操、脳トレ、日常生活動作などを取り入れています。それらを自宅でも出来るような内容にして、いつでも取り入れてもらえるように努めています。自宅での課題や問題については、家族やケアマネジャーと相談し解決策を考え、家族の介護負担や不安を軽減し、在宅で安心して過ごせる環境を作れるように努めています。事故を防止し、健康管理を行い、生活リズムを保ちながら在宅での生活が少しでも長く続けられるように支援しています。

3 利用者の確保について

利用者・家族の希望に出来る限り応えられるように時間短縮や変更・追加には柔軟に対応しています。毎月発行している『デイサービスセンターしらさぎ新聞』には取り組み内容を載せ、居宅介護支援センターや包括支援センター、地域の集まりで配布するなどPRに努めています。出来る限り地域の集まりには参加し、いつでも相談して頂けるような信頼関係を構築しています。利用者や地域の方からの情報には、しらさぎ在宅介護支援センターのケアマネジャーと協力し、速やかに対応することで利用に繋がるように努めています。また、利用を開始された利用者には、利用中の緊張をほぐし、安心して過ごすことができるように声掛けや配慮を行うようにし、心配されている家族にも利用中の様子などを伝えるようにしています。休まれている利用者や入院されている利用者については、ケアマネジャーに確認し、常に状況把握をするように努めています。

今年度は、体調も安定されていた方が急に体調を崩されてご逝去されることや、自宅での生活が困難となり他施設へ入所されるなどして利用者数が急激に減少し、新規利用者や追加利用では、利用者数を維持する事ができませんでした。施設見学で対象者も一緒に来られていて時間に余裕があるような場合には、しばらく利用者と一緒に過ごして頂くなどのミニ体験も行い、雰囲気味わって頂くようにしています。

4 サービスの質の向上について

利用者が興味のあることや希望を聞きながら、職員全員で色々な取り組みや企画を考え話し合い実施しています。職員全員で考えることにより、以前に行っていたことで出来なくなっていた昼食後の歩行訓練、下肢を動かす機会が少ない利用者が簡単に職員数が少なくても行える足踏み運動などを取り入れています。利用者からも足を動かす機会が多くなったことで、身体が動きやすくなったとの意見もあり、今後も出来る限り楽しく下肢を動かす機会を多く取り入れていきたいと考えています。

また、認知症予防につながるもので、簡単なものを使って行えて、手軽に取り入れられるものについてはプログラムに組み込み実施しています。日常生活作業についても、利用

者が役割をもって充実した日常生活を送ることができるように、食器洗い、洗濯干し、洗濯たたみ、テーブル拭き、シーツ交換、調理準備など、少しずつ種類を増やし、最初は職員と一緒に慣れて出来るようになって来られたら、見守りを行いながら継続して行っていき、最終的には自宅でも生活に取り入れて頂けるようにと考え実施しています。利用中の様子は連絡帳やお送りした際に家族に報告し、お迎えの際にはご自宅での様子を伺うなど利用者の情報を常に把握・共有し、より良いサービスを提供できるように努めています。

(年間行事)

4月	花見、おやつ作り (パン)
5月	避難訓練、外食 (ながさわ)、ドライブ (ルピナス)、おやつ作り (鯉のぼりどら焼き)
6月	お楽しみ会 (金太郎劇&紙芝居)、ドライブ (あじさい)、外食 (一休)、買い物 (百均)、おやつ作り (あじさい団子)
7月	喫茶店 (コメダ珈琲)、そうめん流し、おやつ作り (葛饅頭)
8月	ミニ夏祭り、おやつ作り (たこ焼き)
9月	敬老会 (大相撲大会)、喫茶店 (コメダ珈琲)、買い物ツアー (たつのコープ)、おやつ作り (ピザ)
10月	避難訓練、外食 (ながさわ)、ミニ運動会、おやつ作り (スイートポテト)
11月	ドライブ (案山子)、おやつ作り (さつまいもグラタン)、リハビリクッキング
12月	クリスマス会、忘年会 (クレープ作り)、リハビリクッキング
H30.1月	初詣 (あじさい寺)、新年会 (寄せ鍋)、おやつ作り (ベビーカステラ)
2月	節分、リハビリクッキング
3月	おやつ作り (ハート型ポン菓子)、リハビリクッキング

5 他事業所及び地域との連携

居宅介護支援事業所や地域包括支援事業所には、毎月1回の報告書と状況に変化がある時には電話で連絡をするなど小まめに情報を交換し、共有するように努めています。利用者の自宅での様子なども担当マネージャーから聞き、生活環境を整え、家族・地域の一員として在宅生活を継続できるように支援しています。地域ミニデイでは、自宅で出来る体操、頭の体操などを取り入れ、楽しく他者と交流を図ることができる機会を提供し、介護予防に努めています。また、地域の集まりにも参加し、認知症予防や転倒予防の体操などの話をさせて頂き、デイサービスセンターしらすぎの取り組みなどを紹介するよう努めています。地域の方から介護についての相談に対応し、地域の情報収集に努めています。

(地域ミニデイ月平均参加者数)

下構総合センター	5名
太市中公民館	10名
太市西脇公民館	3名
山田・松山公民館	6名
アットホーム	4名

(生きがいデイサービス)

月	一日平均利用者数	月	一日平均利用者数
4月	8名	10月	7名
5月	10名	11月	8名
6月	9名	12月	9名
7月	8名	H30. 1月	9名
8月	8名	2月	7名
9月	9名	3月	8名

一日平均利用者数 8名

6 職員の質の向上について

(施設外研修)

日程	研修名	参加者
9月23日	認知症予防体操リーダー養成講座	濱崎
11月10日	通所介護事業所向けあんしん運転セミナー	田渕
H30. 1月20日	施設長・職員研修会	山本
1月25日	デイ部会・管理者研修	山本
3月13日	集団指導・介護報酬改定等説明会	山本

(施設内研修)

研修月	研修名	担当
4月	H29年度事業計画について	山本
5月	倫理と法令順守について	三木
6月	送迎時緊急対応について 心肺蘇生実習 感染症(食中毒)の予防について	三木 小村 小村
7月	個人情報とプライバシーについて	福原
8月	高齢者の自立支援について	三木
9月	認知症及び認知症ケアについて	福原
10月	リスクマネジメントの考え方	三木
11月	口腔ケアについて	上田

12月	在宅生活を継続する上でのデイサービスの役割	三木
H30. 1月	接遇マナーについて	福原
2月	高齢者虐待の防止と身体拘束について	福原
3月	介護報酬の改定について	山本

外部研修に積極的に参加し、研修で学んだことを施設の中で再度研修会を開催し、知識を向上させ、今まで行ってきた介護業務を再確認し改善を図るなど、より良いサービスが提供できるように取り組んでいます。新しい介護に関する情報を持ち寄り、それらを業務に取り入れることは可能かどうか、どのような効果が得られるのかを職員で検討し、時代にあった施設づくりに努めています。

7 健康管理について

感染予防の為に来所時や外出時の手洗い・うがいの徹底や姫路市での感染症が流行している状況を把握し、利用者・家族へお知らせなどを行い、自宅での様子観察や変化について報告頂くようお願いしています。連絡帳には、ご利用当日の朝の検温をお願いしています。来所時・昼食後に検温を行い、体調変化の早期発見、蔓延予防に努めています。体調の不安定な方には、こまめな経過観察や家族との連絡を密にし、時には受診をお願いするなど、利用者・家族が安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。受診の結果を確認し、デイサービスのご利用中に注意すべき点があれば気を付け、様子観察や対応を行っています。ご利用の体調の変化や体重の増減、食事の摂取量など色々な角度から観察し、利用者に応じた体操を行い、健康増進に努めています。また、職員についても、来所時と昼食後に検温をし、体調の変化を確認しています。

8 経費削減について

備品の消耗・摩耗を軽減し長く使用できるように定期的に掃除やメンテナンスを行っています。ゲームや製作に使用するものは手作りするなど、できるだけ購入するものを控えるように努めています。光熱費は必要のない電気は切るようにすることはもちろん、送迎時の配車なども出来るだけ無駄のないようなコースを組む努力をしています。

(事故件数)

12件

転倒・転落・・・6件

誤薬・・・1件

その他・・・1件

車の損傷・・・4件

以上

平成29年度

事業報告書

居宅介護支援事業所
しらさぎ在宅介護支援センター

1 サービス提供計画

利用者や家族の面談などを通して、ニーズを把握し、その都度必要なサービスを調整しながら支援しました。緊急時には、併設のショートステイやデイサービスが利用できるようにしました。独居や介護が必要な利用者は、自宅での生活が困難になってきた時には、サービス付き高齢者住宅や他施設ショートステイや入所施設などを紹介し、安心して生活ができるように支援しました。

特定事業所加算Ⅱを算定している関係で、9時～18時の時間以外は、転送電話により、24時間連絡体制をとり、介護相談などの相談等を行いました。必要時には、関係機関に連絡をとり、早急に対応しました。

特定事業所集中減算は、全サービスが80%を超える場合、減算の対象になりましたが、今年度は、全サービスが80%を超えることなく、利用者・家族の思いや意見に寄り添った支援を心掛け、提供されるサービスが公正・中立になるようにしました。

利用者の権利擁護に留意し、高齢者虐待にも努めました。訪問時などで、虐待ケースと感じた場合は事業所内で話し合い、また地域包括支援センターや民生委員に相談しました。その都度必要に応じて、併設の特別養護老人ホームへの入所、他施設へ紹介ができたことにより、本人と家族の関係が良好に保つことができました。

2 担当利用者数の確保

地域の拠点となれるよう、また住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、地域住民や各種団体、地域包括支援センターなどと連携し、情報提供や情報交換を行いました。また介護サービスが必要になった時には、介護保険の手続きや介護相談を行い、自宅での生活が困らないように早急に対応しました。

地域のふれあい喫茶や行事にも参加し、アットホーム林田しらさぎでも、介護者教室や介護者のつどいを開催して、地域住民が参加しやすいように工夫し、出かける機会や地域との関わりを深めてもらえるようにしました。地域で介護相談窓口を開き、『地域に根ざした福祉』を実践しました。

安定した事業運営に取り組むために、介護支援専門員が各自でも担当ケースを把握し、新規利用者の獲得ができるように努力しました。結果、新規の介護給付が52件、予防給付が14件ありました。

年間稼働率の目標を95%にしていたのですが、法人の特養に9件、他事業所の施設に14件、死亡で終了が18件、長期入院が3件で合計44件が終了になり、新規は、月平均4.3

件（介護）、1.2件（予防）ありましたが、寒い時期になってから、体調不良が多く、予想以上に担当ケースが終了になったため、目標稼働率を達成できませんでした。今後は、減ることを予測して、定期的にポスティングや地域包括支援センターなどに新規を紹介してもらえようように努力したいと思います。

地域包括支援センターや利用者家族から、介護予防給付の依頼があり、積極的に受けました。

法人のデイサービスや他事業所のサービスを紹介して、自立支援も目指し、在宅生活が送れるように支援しました。結果、相談件数も増え、月平均30件、サービスの調整等を行いました。

ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援受託	26	26	27	27	32	32	30	31	30	32	31	31	355

3 サービス利用のための事業所同士の連携強化

対応困難なケースには、併設の特別養護老人ホームしらさぎの里・兵庫式24時間LSA地域見守り事業（しらさぎ見守り隊24）・デイサービスセンターしらさぎや地域包括支援センター、民生委員などとの関係機関とも連携をとり、問題を解決できるように努力しました。

医療機関とも連携を図り、自宅での生活が継続できるようにしました。入院時には、病院担当者に情報提供を行い、退院前にはカンファレンスに参加して、退院時、スムーズに自宅での生活に戻れるようにしました。

新規利用者 受け付け

申込先	平成28年度	平成29年度
ご家族、本人	22	30
書写林田地域包括支援センター	6	4
大白書地域包括支援センター	10	4
その他の地域包括支援センター	1	1
民生委員、後見人	0	1
病院	2	7
しらさの里特養・LSA見守り	2	0
他事業所（福祉用具事業所・サービス付高齢者住宅）	3	2
合計	46	49

4 介護支援専門員としての質の向上とメンタルヘルス

特定事業所加算Ⅱを算定しているため、ケアマネ実務研修における、ケアマネジメントの基礎技術に関する実習に2名の希望があり、それに対応するため、介護支援専門員としての必要な知識や情報が習得できるよう、外部研修の参加や内部研修を行い、職員の知識、資質の向上を図るために努力しました。平成29年度は、外部研修への参加が少なかったため、平成30年度は、年間を通して、外部の研修に積極的に参加して、多様に変化する、介護保険制度を円滑に実施することができるよう、努力したいと思います。

事業所内で、週1回、事業所連絡会議を行い、担当ケースについて、一人で悩むことがないように、事業所全体で、問題の解決方法を検討しました。担当者が不在でも、普段から、他の職員も、そのケースに対応ができるように、情報交換をして、相談時には、すぐに対応できるようにしました。日々相談業務に携わる職種であるため、ストレスによるバーンアウトを引き起こさないように、心身の健康管理には、十分配慮しました。

平成29年度 介護者教室

開催日	テーマ	講師	場所
平成29年 4月13日	ロコモティブシンドロームを 予防しよう	姫路市安富保健センター 保健師 守本 祥代氏	アットホーム 林田しらさぎ
6月19日	肺炎について	佐野内科ハートクリニック 院長 佐野一成氏	しらさぎの里 多目的ホール
7月20日	だまされしないで! 悪徳商法!!	消費者センター 消費者生活相談員 竹下美和氏	しらさぎの里 多目的ホール
10月18日	もっと知りたい!お薬のこと	わたや薬局横内店 薬剤師 澤江 秀人氏	しらさぎの里 多目的ホール
平成30年 1月25日	不眠症について	佐野内科ハートクリニック 院長 佐野一成氏	アットホーム 林田しらさぎ

平成29年度 外部研修

開催日	研修名称等	出席職員	開催場所
平成29年 5月18日	安富町事例検討交流会	富永	安富地域包括 支援センター
5月20日	3部会合同勉強会	松下	姫路文化センター
9月11日	西南ブロック包括的継続的ケアマ ネジメント	福岡・富永・松下・長谷川	白鳥城スワン
10月11日	ケアマネ交流会	福岡・富永・松下	白鳥城スワン
11月7日	介護支援専門員実務研修実習 受け入れ協力事業説明会	富永	兵庫県庁
11月13日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	福岡・富永・松下・長谷川	白鳥城スワン
11月30日	ケアマネジメント力向上会議	松下	中央保健センター
12月20日	ケアマネマネジメント力向上会議	福岡・富永	高岡市民センター
10月13日～	介護支援専門員更新研修	長谷川	県社会福祉研修所

平成30年 2月14日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	富永・松下	白鳥城スワン
3月13日	集団指導・介護報酬改正等説明会	福岡	姫路文化センター

平成29年度 内部研修（開催場所：事業所内）

開催日	研修名称等
平成29年 4月 3日	介護予防・日常生活支援総合事業について
5月23日	法令遵守及び倫理について
6月 9日	土砂災害に対する避難体制の強化について
7月 3日	認知症及び認知症ケアと精神疾患について
8月 1日	肺炎について
9月11日	気づきの事例検討会
10月18日	お薬のこと、痛み止めについて
11月11日	権利擁護について
12月 1日	地域包括ケアについて
平成30年 1月26日	不眠症について
2月 1日	プライバシー保護の取り組みについて
3月 1日	地域包括支援センターとの連携について

5 地域貢献事業について

地域で介護相談窓口を開催

六九谷公会堂（H29. 5/6、7月中止、9/2、11/4、H30. 1/13、3/3）

勉強会開催

林田町山田老人クラブ（H29. 5/12）

山田長寿会交流会 場所山田公民館 『認知症予防について』

太市老人クラブ連合会（H29. 10/28） 『介護保険について』

介護者教室は、アットホーム林田しらさぎやしらさぎの里で開催し、地域の方や利用者家族が参加しやすいように、工夫しました。

医療や健康など、参加してみたい内容にし、医師や薬剤師を講師に招き、地域住民の方に専門的な知識を得られる場を提供しました。普段聞けない話や、病気やお薬の相談を直接質問ができ好評でした。今後も地域や施設で、介護者教室を定期的で開催し、福祉や医療、介護保険制度が浸透できるようにしたいと思います。

『しらさぎふれあいサロン』は、地域のボランティアグループにも協力してもらい開催しました。喫茶の提供、勉強会やカラオケ、ゲームなどを企画して、地域の方と入居者、デイサービスの利用者との交流ができるように、努力しました。インフルエンザ予防のために、施設では開催できませんでしたが、1月は、アットホーム林田しらさぎで、介護者教室とふれあいサロンを開催したので、定期的に、地域との交流を図ることができました。

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施件数	6	3	4	4	4	2	2	2	4	3	2	5	41

介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	45	44	45	47	43	48	48	46	44	45	44	45	544
要介護2	32	25	26	26	30	29	29	32	28	25	24	24	330
要介護3	23	24	23	24	25	27	28	24	27	24	23	17	289
要介護4	11	13	13	12	11	6	11	11	10	9	7	11	127
要介護5	0	1	2	2	3	2	2	2	3	3	4	3	27
													1317

以上

平成29年度

事業報告書

姫路市大白書地域包括支援センター

1 職員体制

統括責任者…1名（兼任） 保健師等…1名
社会福祉士…1名 主任介護支援専門員…1名
認知症担当…1名 指定介護予防支援従事者…3名

2 活動実績

- 1) 相談総数…712件
電話…434件 来所…141件
訪問…137件 その他（メール、FAX等）…0件
- 2) 相談者総数…1036件
本人・家族…586件 介護保険サービス事業者…94件
行政機関（市役所）…40件 医療機関…97件
行政機関（警察）…11件 その他の関係機関…10件
地域包括支援センター…25件 民生委員…22件
居宅介護支援事業所…127件 地域団体等…24件
- 3) 相談内容（重複計上あり）
一般相談：介護予防に関する事…18件 介護相談…35件
医療・健康相談…104件 生活相談…410件
介護保険制度全般…611件
総合事業に関する相談…5件
フォーマルサービス：保健福祉関係…25件 その他…16件
インフォーマルサービス…権利擁護関係：虐待…36件
消費者被害…1件 成年後見制度…7件
その他…2件
ケアマネジメント支援…34件
- 4) ケース検討会（地域ケア会議の開催）…0件

3 介護予防ケアマネジメントに係る活動

- 1) 介護予防普及啓発事業
 - ① 自主活動グループの活動支援…3カ所
（なごみの会、ふみの会、男性料理の会）
 - ② いきいき百歳体操の活動支援…15カ所

白鳥：柴崎公民館、川西台公民館、実法寺総合センター、
西市民センター健康増進室、コープつどい場、フルーツガーデンさかい
太市：丸山公民館、相野公民館
青山：東遠山集会所、西夢前台1・2丁目公民館、人丸神社、青山苑、青山西公民館、青山公民館、青山北公民館

③ いきいき百歳体操交流会（年1回）

リハビリ特化型デイサービスさかいにて開催

④ 認知症サロン9カ所

白鳥：白鳥老人クラブ第4班、おれんじサロン、柴崎ピンピンクラブ、
おしゃべりサロン、健康づくりの会

青山：健康体操夢クラブ、東遠山さくらサロン、レモンクラブ

太市：相野すみれサロン

⑤ 認知症サポーター養成講座（5カ所）

青山：レモンクラブ

白鳥：ヤマト・スタッフ・サプライ（株）、生活協同組合コープこうべ

太市：西日本高速道路パトロール関西（株）、相野すみれサロン

⑥ 講座開催

いきいき相談室（実法寺総合センター）年10回

白鳥公民館講座 奇数月開催

太市民生委員勉強会

⑦ 男性介護者のつどい（白鳥校区の民家にて毎月開催）

⑧ ふれあい食事会…白鳥校区、太市校区

⑨ 林田消防署管内交流会

⑩ 白鳥 かしのき祭り

⑪ 太市 敬老祝賀会出席

⑫ シルバーヘルパー研修（太市、青山・白鳥）

⑬ 生活・介護支援サポーターの活動支援

地域包括支援センターでの活動 2名

在宅訪問による活動（コーディネート件数） 1件

初回同行訪問（マッチング実施件数） 0件

4 介護予防支援に係る実績

自前プラン総件数…2304件（213件増）

委託プラン総件数…707件（83件増）

年度内新規利用件数…91件（7件増）

※ 自前プラン総件数と委託プラン総件数ともに増加している。11月から3月にかけて

て体調不良や転倒による入院、区分変更・更新により要介護となる方が急増し、利用終了となる方が多かったが、総件数としては増加となった。

5 包括的継続的ケアマネジメント

- ① ケアプラン研修会の開催（年間4回）
- ② 居宅介護支援事業所・介護支援専門員との同行訪問（困難事例対応、委託プランの対応）
- ③ 介護支援専門員からの相談対応（ケアマネ支援）
- ④ 地域包括支援センターだより『ほうかつ新聞』の回覧、配布（毎月19日頃発行）
目的…地域の活動に対する理解、協力、連携、情報の周知、啓発・注意喚起等
配布場所…各校区の自治会長・自治会役員・民生委員・老人クラブ連合会長・老人クラブ会長
各町の公民館
各種サービス事業所
（特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス、小規模多機能、グループホーム、居宅介護支援事業所等）
金融機関、医療機関
その他（自立活動グループ、いきいき百歳体操、認知症サロン参加者など）

6 職員の資質向上のための取組み

- 1) 姫路市が開催する連絡会及び研修会への参加
主任介護支援専門員 連絡会 年間3回
社会福祉士 連絡会 年間3回
保健師等 連絡会 年間3回
認知症担当 連絡会 年間3回
世話人会
ふれあい祭り企画会議
地域包括支援センター連絡会総会及び研修会
地域包括支援センター研修会
準基幹型地域包括支援センター圏域連絡会
コグニサイズリーダー養成研修
ケアマネジメント力向上会議
- 2) 広域的に開催される連絡会及び研修会（外部研修会等）への参加
姫路市社協ふれあいネットワーク研修会
平成29年度集団指導及び平成30年度介護報酬改定等説明会
西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会

3) 内部研修会の開催 年 12 回

開催日	研修名	講師
H29 年 4 月 1 日	個人情報・プライバシー保護について	杉本
5 月 1 日	倫理と公正中立性の確保について	竹田
6 月 1 日	法令遵守について	山田
8 月 7 日	高齢者虐待防止とその対策について	山田
9 月 1 日	権利擁護について	大崎
9 月 4 日	認知症の予防と対策について	大崎
9 月 12 日	地域包括ケアについて	大崎
10 月 24 日	地域の防災の視点から地域連携を学ぶ	多森
11 月 27 日	高齢者の健康管理と栄養について	大崎
H30 年 1 月 29 日	対人援助職のストレスマネジメント	山田
3 月 1 日	医療・介護報酬の同時改正について	青田
順次会議に参加	ケアマネジメント力の向上について	外部

7 災害対策に向けた地域との連携

西市民センター合同消防避難訓練 年 2 回

8 その他

定例会議 毎月開催（毎月、事業計画の進捗状況の振り返り及び方針検討）

苦情解決委員会 偶数月・年間 6 回（年間の苦情相談発生件数 0 件）

運営推進会議

グループホーム・サザンツリー（奇数月）

小規模多機能ホームさかい（偶数月）

地域密着型デイ（半年に 1 回）

（エミオ、アンジュケアサービス、シャングリラ、やすらぎ、あおやま、はなのいえ）

姫路市医療介護連携会議

実習生の受け入れ

姫路赤十字看護専門学校 姫路赤十字病院地域連携室ソーシャルワーカー

国立姫路医療センター附属看護学校 姫路大学

市民後見人養成実習

以上

〈基本方針〉

地域の高齢者が集い、交流を図り、日常生活の不安解消や社会とのつながりを維持することが出来る地域福祉の拠点として介護予防を推進し、高齢者の活動の場が広がるように支援します。

1 地域ニーズに応じた活動

- 1) 地域包括支援センター・地域各種団体との連携を通じて、地域ニーズの把握に努めます。

介護者教室や地域交流講習会などを開催し、地域住民に広く案内し、参加者を募りました。

アンケート用紙と意見箱を設置し、地域の声を集め、事業運営に役立てました。

- 2) 地域における介護予防や当事業所の役割・存在意義の理解を広め、サービス拠点として機能の充実化を図ります。

新たなチラシを作製し、改めて地域住民に周知を図りました。

2 介護予防について

- 1) 地域の高齢者が安心して生活を送ることが出来るように地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・LSAと連携しながら、見守り体制を整えます。

24時間見守りサポートの他、在宅サービスの利用ニーズを拾うことができ、支援に繋がりました。

- 2) 平成29年度の地域支援事業への移行に伴い、地域の新たなサービス拠点として整備を行います。

姫路市における総合事業への移行手続きに進展なく、ふれあいサロンの開催を継続しつつ存在価値が高まる事業化の道を検討中。

- 3) 認知症勉強会・ミニデイ・ふれあいサロン・介護者の集いなどを開催し、高齢者の閉じこもり予防や地域交流の場としての役割を果たします。

ふれあいサロンの開催（毎週月曜から土曜日・10:00～15:00）

地域交流講演会（介護者教室）の開催 2回

ミニデイサービス（元気ハツラツ体操）12回

- 4) 誰でも気軽に足を運べる身近な相談窓口として、介護に関する悩みの相談に応じたり、地域住民との意見交換を行うなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるように支援していきます。

ふれあいサロンの開催を通じて、身近な窓口として地域の相談を随時受付、多様な問題解決機能を発揮するため、法人の各部門とのコーディネート機能を果たし、必要な支援や手続きに結び付けました。

以上

平成 29 年度外部研修等参加記録

開催日	研修内容	参加者	実施会場
4月13日	地域包括支援センター新任職員研修	山田	姫路市役所
4月18日	姫路市老人福祉施設連盟総会	施設長	姫路市医師会
4月25日	姫路市地域包括支援センター連絡会・総会	施設長・大崎	姫路市役所
4月25日	介護人材育成研究	澤工	地場産業センター
5月11日～	介護支援専門員更新研修A(前期)	山田・杉本	社会福祉研究所他
5月12日	県社会福祉法人経営者協議会総会	理事長	県福祉センター
5月12日	市老人福祉施設連盟 新任職員研修	原田	姫路商工会議所
5月15・30日	チームマネジメントリーダー研修	加納・満田	県社会福祉研修所
5月15日	社会福祉法人制度改革の施行に関する説明会	理事長・施設長・事務長	姫路市市民会館
5月18日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会総会	村田	勤労市民会館
5月18日	安富町事例検討交流会	富永	安富地域包括支援センター
5月19日	新卒者対象求人取り扱い説明会	事務長	姫路キャッスルホテル
5月20日	3部会合同勉強会	松下	姫路文化センター
5月24日	衛生講習会	有方	姫路市役所北別館
5月25日	姫路市栄養管理研修会	荒内	防災センター
6月2日	社会福祉施設指導監査説明会	施設長	姫路市役所
6月2日	安全重畳管理者講習会	事務長	市民会館
6月8日	不在者投票事務説明会	宮崎	姫路市役所
6月14日	算定基礎届事務説明会	事務長	姫路文化センター
6月18日	認知症予防体操リーダー養成講座	大崎	丹波の森公苑
6月21日	社会福祉施設等新任職員研修	玉田	姫路市役所
7月6日	姫路市老人福祉施設栄養士部会研修会	柳田	勤労市民会館
7月19日	西播磨地域包括・在宅介護支援センター総会・研修会	大崎	兵庫県武道館
7月20日	県経営協 7月例会	理事長	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル
7月31日	ふれあいネットワーク事業研修会	大崎	姫路市市民会館
8月3日	施設長研修会	施設長	ホテル日航姫路
8月4日	高齢者虐待対応力向上研修	山田	姫路労働会館
8月9日	感染症対策研修(管理者研修) 通所	施設長	姫路市役所
8月21日	生活支援体制整備事業説明会	大崎	姫路市役所
8月21日	認知症地域支援ワーキング研修会	大崎・多森	保健センター
8月25日	高齢者虐待心に関する研修会	多森	姫路市保健所
9月5日	介護職員等終末期ケア対応向上研修会	加納	姫路商工会議所
9月7日	認知症高齢者等への声かけ訓練研修会	大崎・多森	イノウエビル
9月7日	老施連 栄養士部会研修会	福岡・森下	みかしぼ学園

開催日	研修内容	参加者	実施会場
9月11日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント	福岡・富永・ 松下・長谷川	ウエルカムハウススワン
9月20日	ケアプラン基礎研修会	佐野	勤労市民会館
9月23日	認知症予防体操リーダー養成講座	濱崎・青田	たつの市青少年館
9月29日	姫路市集団指導	福岡	文化センター
9月29日	地域包括支援センター開設希望 法人説明会	施設長	姫路市役所
10月3日	新任職員ステップアップ研修	米澤	社会福祉研修所
10月4日	高齢者雇用開発フォーラム	事務長	イイノホール
10月5日	姫路市老人福祉施設連盟 栄養士部会	柳田	勤労市民会館
10月5日	不在者投票事務説明会	宮崎	姫路市役所
10月11日	ケアマネ交流会	福岡・富永・松下	ウエルカムハウススワン
10月12日	県経営協 10月例会	理事長	ANAクラウンプラザ ホテル
10月13日～	介護支援専門員更新研修	長谷川	県社会福祉研修所他
10月13日～	介護支援専門員更新研修	杉本	県社会福祉研修所他
10月19日	ワークショップひょうご2017	事務長	産業振興センター
10月20日	地域包括支援センター保健師 看護師連絡会	青田・多森	姫路市役所
10月27日	認知症予防体操リーダー養成講座	多森	但馬の杜公苑
10月31日	県 栄養士会 スキルアップ研修	水戸	新長田勤労市民センター
11月1日	社会福祉法人研修会 財務会計研修	事務長	姫路市市民会館
11月7日	介護支援専門員実務研修実習受入協力 事業説明会	富永	兵庫県庁
11月7日	西播磨地域包括・在宅介護支援センター 連絡会	施設長・大崎・ 富田・多森	地場産業センター
11月9日	地域包括支援センター開設申し出 ヒアリング	施設長・大崎	田中興産ビル
11月10日	通所介護事業所向けあんしん 運転セミナー	田淵	姫路稲穂国神社
11月13日	西南ブロックケアマネージャー研修会	福岡・富永・ 松下・長谷川	ウエルカムハウススワン
11月16日	姫路市栄養管理研修会	荒内	手柄山交流ステーション
11月17日	姫路市林福談支援事業所全体会	大崎	姫路市役所
11月17日	高齢者虐待対応力向上研修	石井	姫路労働会館

開催日	研修内容	参加者	実施会場
11月22日	源泉所得税の年末調整説明会	事務長	文化センター
11月25日	酒井病院地域連携交流会	大崎・富田	フルーツガーデン
11月28日	シンポジウム2017	施設長	山崎文化会館
11月30日	老施連 栄養士部会研修会	柳田	勤労市民会館
11月30日	ケアマネジメント力向上会議	松下	中央保健センター
12月4日	社会福祉法人 役員・評議員研修会	施設長	姫路市役所
12月7日	法人経営トップセミナー	理事長	神戸メリケンパークホテル
12月12日	社会福祉研修	事務長	姫路市役所
12月12日	介護職スキルアップ講習会	施設長	市民会館
12月20日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・富永	高岡市民センター
12月21日	地域包括支援センター設置に向けた説明会	施設長・大崎	姫路市役所
1月12日	介護支援ボランティア交流会	大崎・青田	市民会館
1月11・12日	接遇・日常マナーリーダー研修	高濱	県社会福祉研修所
1月17・18日	テーマ別研修 ポジショニング編	福谷	西播磨総合リハビリセンター
1月18日	退職共済制度事務説明会	事務長	県農業会館
1月20日	施設長・職員研修会	施設長・春本・山本	サンシャイン青山
1月25日	デイ部会 管理者研修	山本	県福祉センター
1月29日	応急手当普及員講習	渡部	市防災センター
1月30日	高齢者虐待対応に関する研修会	大崎	市役所
2月5・6日	施設長研修会	施設長	メリケンパーク オリエンタルホテル
2月7日	応急手当普及員養成講習会	佐野	姫路市防災センター
2月8日	域サポート型施設設備事業研修会	施設長	県福祉センター
2月8日	市老施連 栄養士部会研修会	荒内	勤労市民会館
2月10日	主任介護支援専門員 研修会	富田	労働会館
2月14日	西南ブロック包括的継続的ケア マネジメント	富永・松下	ウエルカムハウススワン
2月15日	社会福祉研修 (非常時の食事提供について)	村田	姫路市役所
2月15日	地域包括支援センター連絡会による 研修会	大崎・青田	姫路市防災センター
2月21日	西播磨包括・支援センター連絡協議会 研修交流会	施設長・大崎	姫路商工会議所
2月22日	社会福祉法人 人事・労務管理研修	事務長	県社会福祉研修所

開催日	研修内容	参加者	実施会場
2月22日	キャラバンメイトフォローアップ研修会	大崎・青田	姫路市民会館
2月23日	医療介護関係者向け研修会	大崎・青田	姫路市医師会館
2月23日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	理事長	キャッスルグラン ヴィリオホテル
2月27日	住民のための講演会	富田	姫路市文化センター
3月2日	介護予防支援及び介護予防 ケアマネジメント事務説明会	大崎	姫路市役所
3月2日	社会福祉施設協議会研修会	理事長	花の北市民広場
3月6日	ストレスマネジメント研修	佐野・竹森	姫路市役所
3月8日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会	村田	セトレノハイランドヴィラ
3月13日	集団指導・介護報酬改定等説明会	施設長・春本・ 山本・福岡・青田	姫路市文化センター
3月23日	福祉人材確保・定着力向上研修	井貫	三宮研修センター
3月28日	包括委託契約等説明会	施設長・大崎	姫路市役所

平成 29 年度ボランティア活動実績

活動日時	活動内容	活動人数
平成 29 年 4 月 13 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
4 月 13 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
4 月 15 日	デイにてクッキング手伝い	1 名
4 月 19 日	施設行事ボランティア	4 名
4 月 20 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
4 月 20 日	眼鏡洗浄ボランティア	2 名
4 月 25 日	デイ利用者へ手品披露	5 名
4 月 25 日	特養利用者へ俳句指導	2 名
4 月 27 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 1 日	特養利用者へ散髪ボランティア	4 名
5 月 3 日	デイ利用者へ踊り披露	4 名
5 月 10 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
5 月 11 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 15 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
5 月 18 日	眼鏡洗浄ボランティア	2 名
5 月 20 日	デイにてクッキング手伝い	1 名
5 月 25 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 26 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
6 月 8 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
6 月 12 日	特養利用者へ散髪ボランティア	5 名
6 月 14 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
6 月 15 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
6 月 15 日	眼鏡洗浄ボランティア	1 名
6 月 17 日	デイ利用者へ手品披露	5 名
6 月 19 日	施設行事ボランティア	4 名
6 月 22 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
6 月 27 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
7 月 5 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
7 月 13 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
7 月 17 日	デイ利用者へギター演奏披露	2 名
7 月 18 日	デイ利用者へ手品披露	5 名
7 月 20 日	眼鏡洗浄ボランティア	1 名
7 月 21 日	デイ利用者へ大正琴披露	1 名

活動日時	活動内容	活動人数
7月22日	デイにてクッキング手伝い	1名
7月27日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月6日	施設行事ボランティア	5名
8月9日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
8月10日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月16日	デイ利用者へ踊り披露	5名
8月17日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
8月21日	特養利用者へ散髪ボランティア	5名
8月22日	デイ利用者へ手品披露	5名
8月22日	施設行事ボランティア	5名
8月24日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月30日	眼鏡洗浄ボランティア	1名
9月5日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
9月14日	デイ利用者へ習字指導	1名
9月21日	デイ利用者へ歌披露	2名
9月21日	眼鏡洗浄ボランティア	1名
9月22日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
10月4日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
10月5日	デイ利用者へ習字指導	1名
10月9日	特養利用者へ散髪ボランティア	4名
10月17日	眼鏡洗浄ボランティア	1名
10月18日	施設行事ボランティア	5名
10月26日	デイ利用者へ習字指導	1名
11月9日	デイ利用者へ習字指導	1名
11月10日	デイ利用者へ手品披露	1名
11月14日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
11月16日	眼鏡洗浄ボランティア	1名
11月17日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
11月27日	施設装飾ボランティア	4名
11月28日	特養利用者へ俳句指導	2名
11月30日	デイ利用者へ習字指導	1名
12月4日	デイ利用者へ踊り披露	4名
12月7日	デイ利用者へ習字指導	1名
12月9日	施設行事ボランティア	5名

活動日時	活動内容	活動人数
12月11日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
12月11日	特養利用者へ散髪ボランティア	6名
12月13日	デイ利用者へ手品披露	5名
12月13日	眼鏡洗浄ボランティア	1名
12月13日	施設行事ボランティア	4名
12月18日	デイ利用者へ草笛披露	5名
12月20日	デイ利用者へ踊り披露	5名
12月21日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
12月28日	デイ利用者へ習字指導	1名
平成30年 1月11日	デイ利用者へ習字指導	1名
1月12日	デイ利用者へ手品披露	1名
1月13日	デイ利用者へ手品披露	5名
1月19日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
1月25日	デイ利用者へ習字指導	1名
1月26日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
2月7日	デイ利用者へ大正琴ボランティア	5名
2月8日	デイ利用者へ習字指導	1名
2月15日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
2月20日	デイ利用者へ手品披露	5名
2月22日	デイ利用者へ習字指導	1名
2月26日	施設装飾ボランティア	6名
3月2日	デイ利用者へ歌披露	4名
3月5日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
3月8日	デイ利用者へ習字指導	5名
3月13日	デイ利用者へ和太鼓披露	2名
3月14日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
3月19日	デイ利用者へ手品披露	5名
3月29日	デイ利用者へ習字指導	1名

参加ボランティア：団体（14団体） 個人（4人）

延 活動回数： 95回

延 活動人数： 299人

以上